

林家 木久扇 落語家

昭和13年 東京日本橋生まれ。

昭和35年 三代目・桂三木助門下に見習いとして入門する。当時の芸名は桂木久男。

昭和36年 三木助没後、八代目・林家正蔵門下へと移り、芸名を林家木久蔵と改める。

昭和40年 二つ目昇進。

昭和47年 林家木久蔵のまま真打ち昇進。

昭和19年 落語界史上初・林家木久扇、二代 林家木久蔵の親子ダブル襲名披露を行う。

時代に呼応する新鮮な話芸をもち、そのテリトリーは多岐にわたる。昭和44年からレギュラー出演する、日本テレビ「笑点」では、お茶の間に笑いを提供している。一般社団法人落語協会相談役のほか、「全国ラーメン党」会長、一般社団法人日本漫画家協会参与などの顔をもち、多方面で活躍している。